

歌を通して人と人とのつながりを
～ 平成25年度・太子高校Jコーラスの活動記録 ～

今年度初めての活動。家族を想う歌や懐かしのメロディーが会場を盛り上げました。握手とともに挨拶を交わし、交流を深めました。この日はALTのアリシアも応援に。



4/7(日) 谷村新司トーク&ライブキャラバン

言わずと知れた、歌手の谷村新司さんと一緒、夢のステージ。子どもの合唱団とともに、谷村さんの曲を始め、数曲を舞台上で歌いました。リハーサルでは、谷村さん直々のご指導を賜りました。偉大なオーラに包まれた、張り詰めた空気。「じゃあ、ボクがカウントするからね。ワン・ツー・スリー ♪♪♪」



4/8(月) 入学式・4/11(木)部活動紹介

入学式では、吹奏楽部の演奏で校歌を披露。部活動紹介では、フォーマルな校歌とはうってかわって、カジュアルなポップスで新入生を魅了。どんな歌でも歌い分けて表現できるんだ！ というカッコよさに惹かれて入部を決意した1年生も多いようです。



5/3(金) 赤とんぼ広場 GW コンサート

1年生を迎え、30人規模の人数に成長したJコーラス部。全員で歌ったときの迫力は、いうまでもありません。学年ごと、男女別の小編成の曲目も入り、バラエティーに富んだプログラムとなりました。買い物客でにぎわうなか、子どもから大人まで大喜びで聴いてくださいました。1年生は、初舞台にちょっと緊張気味。



6/9(日) Live in ASUKA 予選

「ファッション・モンスター」「家族になろうよ」「夏色」と、表現の異なる曲を持っていき、しっかり違いをつけて歌い分けました。人数が多いゆえの迫力に甘えてはいないか、と、講評は辛口。それでも、さらなる成長を見込まれてのことでしょうか、予選通過。本選では、ぜひともこの期待に応えたいものです。この日は、ダンス部も予選通過。同じ学校の仲間として、喜びを共有。



6/15(土) まほろばの里デイサービスセンター 父の日イベント

1年生にとっては初めての老人ホーム。家族を想う歌や懐かしのメロディーが会場を盛り上げました。演奏後、握手とともに挨拶を交わし、交流を深めました。交流会が終わってから、「大きな話になりますが、今日の高校生を見て、日本は大丈夫です、と思いました。」と、施設長からお褒めのことばをいただきました。



6/16(日) 赤とんぼ広場コンサート

今年度2度目の赤とんぼ広場。前回よりも曲目のバラエティーは増し、1年生も勢いをつけました。今回も、買い物客でにぎわうなか、子どもから大人まで大喜びで聴いてくださいました。



6/21(金) 第38回文化祭

校外での活動が多い中、全校生徒及び教員に見て聴いていただくという、Jコーラス部にとっては貴重なチャンスです。全員の足並みから一挙手一投足までそろったア・カペラの「ファッション・モンスター」には、みなさん度肝を抜かれたことでしょう。2、3年女子ア・カペラの「ルパン三世のテーマ」もカッコよく決まりました。2年男子の「LaLaLa Love Song」には、大歓声、完成度も最高潮に。そしてJコーラス部といえば「家族になろうよ」。ギターやベース、ドラムも歌をおおいに盛り上げました。ラストは「あなたに会いたくて」。会場の誰もが予想できなかった、驚きの展開&演出に、文化祭ステージ部門のしめくくりは、熱狂的なものとなりました。



7/27(土) イオンモール姫路大津 高校生オンステージ

いよいよ夏休み。文字通り「Vacation」の歌でスタート。他団体と交代でのステージなので、時間的な制約はあったものの、買い物客でにぎわうなか、大人から子どもまで大喜びで聞いてくださいました。



8/1(木) オープンスクール 部活動見学

中学生たちにわが部活動を見てもらいました。「J」が付くと単なる「コーラス」にあらず、ということがよく分かってもらえたのではないのでしょうか。



8/10(土) 太子高校Jコーラス部 サマーライブ

夏休み第二弾。この日はJコーラス部のためだけに時間をもらい、2度のステージをたっぷり歌わせてもらいました。2ステージ目になると、高校生パワーがようやく全開、1ステージ目では通過してしまっていた客足も、立ち止まるようになり、みなさん最後まで聴いてくださるようになりました。2ステージをこなしたこの晩、太子町出身の男子は龍田小学校での夏祭りでもバンドと歌声を披露。



8/11(日) 糸井夏祭り

地域の夏祭りの中で、「高校生の若い声をゼヒ」、という要望にお応えしてのコンサートでした。地域の人も一緒に懐メロを歌いました。屋外で手作り屋台や、さまざまな出し物がありました。高校生が大人のマジックの司会をしたり、ひょっこり参加しました。





8/13(火) FM ゲンキ ラジオ出演

Live in ASUKA 13 決勝進出に先立ち、部員が活動状況などを公共の電波に乗せました。オープニングで「Winding Road」のコーラスを披露。地元のアイドルとしては、会心のスタートでした。

8/21(水) 斑鳩寺夏会式

会式の舞台にも進出。J コーラス部はどこにでも高校生パワーをお届けします。子どもたちも多く集まる中、ラストは舞台から降りて観客を取り囲むようにして歌いました。



8/24(土) つながる FESTA

前半では、たつの市少年少女合唱団と一緒に、SMAP の「Joy!!」では歌とともに可愛らしいダンスに挑戦。「銀河鉄道 999 (スリー・ナイン)」は、振り付けも加わって、一層パワーアップ。

そして後半。『猫の恩返し』の音楽で有名な つじ あやの さんとの夢の共演が実現。つじさんの作った歌で、たつの地から東北の被災地へ、熱いエールが贈られました。



8/25(日)

Live in ASUKA 13 決勝
あすかホール

10 分間にかけた青春。

3 年連続の、オーディエンス賞獲得。

8/29(木) まほろばの里デイサービスセンター 交流イベント

まほろばの里から、再びリクエスト。今回も家族を想う歌や懐かしのメロディーが会場を盛り上げました。握手とともに挨拶を交わし、交流を深めました。さらにゲームも加わりました。曲目で歌われていた歌詞を踏まえて、ある利用者さんは互いに「いのちある限り、ええ言葉やねえ。」と話しており、感銘を受けられた様子でした。



8/31(土) 太子高校Jコーラス部 たつのオールドバンク・サマー・ジョイ・コンサート

夏休み最後のイベント。貸し切りの会場で、これまで歌ってきた曲目、新たに歌いたい曲など、たっぷり2時間、思う存分歌いました。途中、生徒のゲストで、紙芝居もありました。たつのの地で生まれた童謡「赤とんぼ」の由来が、感動的に語られました。



9/15(日) 書写ひまわりホーム・ふれあいコンサート

敬老の日。書写ひまわりホームからは2度目のオファー。家族を想う歌や懐かしのメロディー、そしてゲームが会場を盛り上げました。100歳前後の長寿を祝う場面では、高齢の方々の元気さ、受け答えの明晰なことに驚きを隠せませんでした。年齢を重ねておられるゆえの知恵にも敬服。座布団の秘密とは???



9/23(土) 秋の交通安全運動 オープニングセレモニー

吹奏楽部の演奏に続き、そのまま吹奏楽部の伴奏で「勇気 100%」をたつの市青少年合唱団と熱唱。途中、シリアスな歌でいのちの尊さを歌えかけました。そして再び少女少女と共演、前回に続き、「Joy!!」を歌い踊りました。また、交通安全の歌も共演にて可愛らしく決めて、周囲に注意を喚起。

この日は、セレモニーの会場に交通機動隊員も登場。白バイに乗って颯爽と現れた隊員の雄姿に、高校生から「カッコイイ～」との歓声も。自動車を運転する大人は、気が引き締まるのです。



10/1(火) 小宅南幼稚園・ふれあいコンサート

部長・副部長、幼児を前にして初めての司会。ことばの選び方、声のトーンなど、新しく学んだことも多かったことでしょう。幼児たちの前で歌うだけでなく、手遊びやゲームによる交流もしました。幼児たちは、高校生のお兄さん・お姉さんたちにすっかりなついて、ハグハグ・好き好きにご満悦。



10/27(日) 三木露風賞

童謡「赤とんぼ」の作者・三木露風の出身地、たつので、新たに生まれた童謡などが披露されました。今回はさまざまな童謡・唱歌で四季を綴る舞台。Jコーラス部は、そのうちの水無月の場面で出場。たつの市の社会人たちが新喜劇を繰り広げる背後、ミュージカル形式で「せきがえ」と「雨はあしながおじさん」を熱唱。どちらも「三木露風賞新しい童謡コンクール」入賞作品です。

本番は撮影禁止なので、リハーサルのオフショットを。また、朝のリハーサルから本番まで間があったので、通常練習も怠りません。高校生パワー全開の歌声が、揖保川河川敷に響き渡りました。



10/31(木) FM GENKI ラジオ取材

本校卒業生でもある、FM GENKI のスタッフが来校、取材を受けました。練習の歌声、また、数名ずつに分けて行われたインタビューは、11月5日からの毎火曜日、19時から20時までの「一番星」のコーナーで、5週連続で放送されます。インターネットにても視聴可能です。



11/3(日) 太子あすかふるさとまつり

太子町の魅力があすかホールとその周辺に集まるイベント。小雨が降ったり止んだりする中、高校生パワーをお届けしました。イベントが終わるころ、雨が本格的に。どうにか天候が守られたようでした。



11/8(金) 人権講演会

講師にシンガーソングライターの小西達也さんをお迎えして、全校人権学習講演会。こころをテーマに、歌とともに熱いメッセージが語られました。講演会のラストは特別企画、ご自身の作である「いつまでも忘れない」をJコーラス部とコラボレーション。

